

豊見城小学校の特別支援教育について

豊見城小学校

特別支援教育コーディネーター
下地 恵

特別支援教育とは

平成19年度より特殊教育から特別支援教育にかわりました。

- これまでの「特殊教育」から支援の対象を広げ「特別支援教育」として大きく変わりました。
- これからは通常学級に在籍する、発達障害を持った児童生徒を含めて、一人一人の実態を把握し、教育的ニーズに合わせた教育を行っていきます。
- 学校での教育だけでなく、医療や福祉等の関係機関とも協力しながら適切な支援を行っていきます。

こんな子はいませんか？ 例えば・・・

*一例です。

学習面

何回漢字を学習しても次の日には
あっさり忘れてがっかりしてしまう。

授業に集中でき
ず、窓の外が気にな
る。

自分の答える順番を
待つことができない。

些細なことで友達とけんかにな
ってしまう。

本を読むとき、同じ行を読んだり、
行をとばしたりする。

一斉に説明すると、話の
内容が理解できない。

コンパス、定規などが使え
ず、図形を描くことができない。

すぐにお友達に手を出してしま
う。



ひらがなが鏡文字
になる。

生活面

忘れ物がとにかく多い。

集団行動ができない。

話しかけても、聞いていない
ように見える。

集められたゴミの中にいつも
その子の物が紛れ込んでいる。



しばしばふざけすぎて周 囲から浮
く。

はさみやひも結びが苦手で不器用。

思ったことをそのまま口にする
ため、周囲がはらはらする。

片付けができない。

すぐ教室をとびだす。



家庭で

身の回りのことに
時間がかかりすぎる。

買ったばかりの物でもすぐ
になくしたり、こわしたりす
る。

食事をとることが上手でなく、
食べこぼしが多い。

なかなか宿題に
取りかかれない。

口ごたえばかりする。

我慢できずに
かんしゃくをおこ
す。

表情や声の抑揚などから相手の
感情を理解できない。

叱られることばかりする。

こだわりが強い。



本校には、特別な支援が必要な児童のために**特別支援学級**や**通級指導教室**があります。

- 通常学級・・・大きな集団で、一斉指導が中心の学びの場です。
- 通級指導教室・・・通常学級に在籍しながら、必要に応じて、週に1回程度、個別または少人数で学ぶことができます。
- 特別支援学級・・・令和7年度は、知的（1クラス）、自閉・情緒（6クラス）、言語学級（1クラス）、病弱学級（1クラス）があり、児童の教育的ニーズに応じて、少人数で個別の指導計画に沿って学習を進めることができます。一部の教科や学校行事は通常学級で学習することができます。

本校では、特別な支援が必要とされると思われる児童のために、

- 特別支援教育校内委員会で支援の検討を行います。
- 支援が必要となる児童の保護者、担任への相談を行います。
- 特別な支援を受けるためには、毎年6月までに学級担任に申し出ること、豊見城市の教育支援委員会で特別な支援の必要性を判断します。
- その他の支援方法も検討していきます。

また、以下のような場合は、保護者の同意のもと豊見城市教育委員会へ申請し、特別支援教育支援員をつけることができます。

- 学校生活を送るうえで、健康上に安全管理を特に必要とする場合
- 学級、学校からの急な飛び出し、自分自身や他人への危険行為を頻繁に繰り返す場合
- 身辺処理が非常に困難であり、移動においても支援が必要な場合（肢体不自由、知的障害、視覚障害等）

傾向を知るためのチェックリスト

※ このチェックリストは診断のためのチェックではありません。子どもの傾向や特性を知り、適切な支援を考えるためのものです。家庭や学校での子どもの様子から、あてはまるものをチェックしてください。

○あてはまる △わからない Xあてはまらない

傾向	観点	内容	○△×
LD 傾向	聞く	聞き間違いがよくある	
		個別に言われると聞き取れるが、集団では難しいことが多い	
		指示したことの理解が難しいことがある	
	話す	言葉につまることがよくある	
		思いつくままに話し、わかりやすく話すことが苦手	
	読む	文中の語句を抜かしたり、同じ行を繰り返し読んでしまうことがある	
		音読がとても遅い	
	書く	独特で読みにくい字を書く	
		句読点が抜けたり、正しく句読点を打つことが出来ない	
		作文や日記がとても苦手で、きまったパターンしか書けない	
	計算する	学習した数の意味や表し方についての理解が難しい	
		とても簡単な計算も暗算で解けない	
		計算するのにとても時間がかかる	
	推論する	学習した「長さ」や「重さ」などを比較することが難しい	
		学習した算数の図形を描くことがとても苦手	
		勘違いがあったり、予想外の考えをすることがある	

ADHD 傾向	不注意	授業中や朝会などで気が散りやすく、勝手に別のことをすることがある	
		うっかりミスや忘れ物が多い	
		整理・整頓がとても苦手である	
	多動性	授業中に勝手に席を離れることがある	
		授業や朝会でキョロキョロしたり、落ち着かないことがよくある	
	衝動性	人の話をよく聞かずに、自分の事だけを話すことがよくある	
		順番を待てずに、勝手に割り込むことがよくある	
		自分の考えを無理に押し通すことがよくある	

自閉症スペクトラム傾向	社会性	友達と仲良くしたい気持ちはあるが、友達関係がうまく築けない。	
		友達がそばにいても、一人遊びがよくある。	
		周りの人が困るようなことも、気にせずに言ってしまう。	
	コミュニケーション	決まりにこだわりすぎて、友達の行為を強く注意したりする。	
		会話が一方的になったり、やり取りが続かないことが多い。	
		冗談や皮肉がわからず、言われたままの言葉を受け取ってしまう。	
	興味こだわり	会話の仕方が形式的で単調な声の高さで話したり、間が取れない。	
		きまった興味に熱中しすぎることもある（昆虫、読書、ゲーム、車など）。	
		予定や時間割などの急な変更や変化を嫌がったり、怒ることがよくある。	
		とても得意なことがある反面、極端に苦手なことがある。	

※○が少なくても家庭や学校で子ども自身が困っている場合は担任に相談して下さい。